

議会改革意見交換会実施報告書

開催日時	令和5年5月11日（木）／19時00分 ～ 20時45分
開催場所	八千代プラザ
出席議員	受付・アンケート回収 （市位裕文）（門脇保文） 司会 （日原茂樹） 報告1（廣畑幸子） 報告2（内橋志郎） PC（藤本一昭） 写真（吉田政義） グループ担当（市位裕文）（橋尾哲夫）（門脇保文） （藤本一昭）（門脇教蔵）（足立吉継） 挨拶 笹倉政芳議長・門脇教蔵副議長
欠席議員	なし
参加者数	19人
意見交換会意見まとめ	1 議員のなり手不足 ・議員は職業ではない。高い志をもったものであり、金銭でははかれない。 ・議会に関心がない。議員に魅力がないので議員になりたくない。 ・議員が何をしているか分からない。 ・議員報酬は安すぎて、兼業しないと生活が維持できない金額である。 ・若手の意欲ある人も議員報酬が安いので議員になるのをあきらめる。 ・議員は行政から提案されたものをただ承認しているだけで議員の存在感がない。 ・昔は議員に出たい人よりも出てほしい人は各地に一人はいた。 ・議員は町民の声を代弁して確実に行政に届けてほしい。 ・選挙にでたくても家族等の協力を得ることが難しい。 2 議員定数・議員報酬 ・議員定数と議員報酬は切り離して考えること。 ・議員定数は14名から12名。最低議会運営ができないのでは困る。 ・議員定数を11名に減らし、その浮いた分で報酬を引き上げる。 ・議員定数14名でよい。減らしたら住民の声が届きにくくなるのではない。人口減少で減らすだけが能ではない。 ・議員は予算審査や行政の監視役が仕事一定の人数は必要。 ・議員定数20人にし、今の報酬では議員にならない。あげればなれるかは別問題。 ・議員報酬は生活ができる金額に引き上げ活動を活発にし、女性や色々な階層から出られるようにすべきである。 ・議員報酬21万円では生活が維持できない。市議会に比べ非常に安い。

手取り 25 万円程度は必要である。

- ・ 議員報酬は今の活動状況では、この金額で良い。
- ・ 今後公務員並みにあるべきではないか。
- ・ 議員の処遇改善（休暇、休職、年金、手当等の拡大）を図ること。
- ・ 活動費用として政務調査費を検討すること。

3 住民に関心を持ってもらう議会

- ・ 多可テレビでは本会議だけ放映されているが、各委員会の放映もやるべき。
- ・ 身近な議員がいない。
- ・ 各議員さんの活動が見えない。活動状況を教えてほしい。
- ・ ホームページでも議事録や動画などで活動を情報発信すること。
- ・ 一般質問は程度の低い質問や国政に関するものは場違いである。町行政についての問題に関し 1 事項を深掘してほしい。
- ・ 議員は集落要望をしてくれるので地元が良くなる。集落で議員を育成する。
- ・ 議員は積極的に各集落に出向き住民と交流すること。
- ・ 各集落も住民も議員を頼りにしている。
- ・ 交流がないことは議員に対する不信感が増幅するのみである。
- ・ 情報発信を今風にスマホ等住民に発信すること。
- ・ 瓦版は新聞を購読していない住民もいる。
- ・ この場に当然女性の人も参加してほしい。

要望等

その他
特記事項

令和 5 年 5 月 22 日

多可町議会議長 笹 倉 政 芳 様

報告者 橋 尾 哲 夫

議会改革意見交換会実施報告書

開催日時	令和 5 年 5 月 13 日（土）／ 19 時 ～ 20 時 45 分
開催場所	多可町文化会館 大会議室
出席議員	受付・アンケート回収 （ 藤原清勝 ）（ 大山由郎 ） 司会 （ 日原茂樹 ） 報告 1 （ 廣畑幸子 ） 報告 2 （ 内橋志郎 ） PC （ 藤本一昭 ） 写真 （ 吉田政義 ） グループ担当 （ 藤原清勝 ）（ 大山由郎 ）（ 内橋志郎 ） （ 清水俊博 ） 挨拶 笹倉政芳議長・門脇教蔵副議長
欠席議員	門脇保文議員
参加者数	14 人
意見交換会意見まとめ	Ⅰ 議員のなり手不足 ・安いので子育て、若い世代での立候補は難しい。 ・40代、50代の方々や女性の方々の立候補者が出てほしい。 ・各世代の代表が出るために議員報酬が少ない。減らせ減らせではだめ。保証が必要。 ・報酬が少ない。若い人たちが出にくい。若い人の意見が必要だ。議員を減らして報酬を増やせ。 ・昔は議員定数が多くて身近に感じていたが、人数が減ったら多様な意見が出難い。 ・村からもっと立候補者が出てほしい。 ・住民意見を吸い上げるためにはある程度の数がある。今が限界ではないか。少なかったら若い人も出にくい。 ・議員がもっと住民の声を聞くべきだ。特に、高齢者の意見を。議員の活動を活発にするために報酬を上げろ。 ・活発な議論がない。委員会などの機会を知らせよ。結論は分かっても途中経過が分らない。 ・小野市は魅力がある。やってみようという目標・課題がある。活発であるから、やってみたいということになる。多可町には魅力がない。 ・議員としてやりがいがあったこと。議員として良かったことなどを具体的に情報発信せよ。 ・議会、町行政の内容、実情等くわしく伝えてほしい。伝わっていない。伝達方法も工夫すべき。 ・議員、議会の在り方において、リモートワーク等出席の在り方を見直してみてもどうか。見直すべき。 ・議員の政策立案等より高い能力が求められている。若者、女性、の考え

方も必要だ。 政務調査費も必要だ。

2 議員定数・議員報酬

議員定数

- ・地域の実情、声を知ってもらうために14人の定数では少ない。校区から推薦ができるような方法とか、定期的に町民の声を聴いてもらう場を設けてほしい。
- ・14人 → 10人程度？ 詳しい判断材料がない。合併当時3町で44人から見れば削減過ぎ？
- ・区長との共同で少なくともいい。
- ・町財政が厳しいので、議員報酬総額を決める。そして、議員報酬で割って定数を求める。
- ・分からない。外からでは分からない。議会活動が今の人数が適正なのか、否かは議員から自ら声をあげよ。議員OBの声も聞いて。
- ・若い人、女性が少ない。公平な議会といえない。
- ・11月シンポジウムの4人の話はよかった。若い人が出やすい手立てを。

議員報酬

- ・今の議員報酬では、志があっても立候補しない。兼業しなくても子育てができる、ちゃんとした生活ができる報酬が必要。そしてきちっとした仕事をしてもらいたい。
- ・現役世代が生活できる額、報酬に上げるべき 住民の役に立っていれば問題ない。費用対効果だ。
- ・215,000 安い。上げるべきだ。 報酬審議会を開き定期的に見直すべき！ メンバーも現状に詳しい人を選ぶ。
- ・報酬を上げろ。せめて公務員の課長クラス。
- ・拘束時間も分からずだが、別に上げてもいい。但し、熱意をもって活動すること。何のために議員になったのか、議員報酬を得るためだけでは否。
- ・活動すれば実費手当を出せばよい。
- ・若い人には家族手当、休日勤務手当などを出して、生計がなり立つように。
- ・議員報酬について議員が語るのは、大変でしょうが、次の議員のための議論をしてほしい。

3 住民に関心をもってもらう議会

- ・アンケート調査の集計報告のその後が見えてこない。

	・高校生議会だけではなく、小学生、中学生議会も根気よく続けてみたらどうか。 ・区長も大変なので、区長と町の間担当議員がいたりして、定期的に会合をもってほしい。 ・議員が何をしているのか、全く分からない。住民と対話すること。 ・きめ細やかな説明。各集落へ出向く。 ・議員側からアピールせよ。イベントのような場で、１０分、２０分活動報告などを。情報発信の仕方を考えろ。議会広報も工夫を。 ・思い切った提言を住民は期待している。追認ばかりでは感心も薄れる。 ・議員、議会も政策を提言できる能力を持て。住民の関心も上がる方法です。 ・議会議員の力量 UP に期待している その為には「政務調査費」等必要なものは計上すべきです ・日曜、夜間議会等一度やってみることも必要 ダメだったら戻せばよい
要望等	
その他 特記事項	

令和 ５年 ５月 ２２日

多可町議会議長 笹 倉 政 芳 様

報告者 内 橋 志 郎 _____

議会改革意見交換会実施報告書

開催日時	令和 5 年 5 月 16 日 (火) / 19 時 00 分 ~ 21 時 05 分
開催場所	加美コミュニティプラザ
出席議員	受付・アンケート回収 (足立吉継) (廣畑幸子) 司会 (日原茂樹) 報告 1 (廣畑幸子) 報告 2 (内橋志郎) PC (藤本一昭) 写真 (吉田政義) グループ担当 (足立吉継) (藤原清勝) (市位裕文) (大山由郎) (橋尾哲夫) (内橋志郎) (門脇保文) (廣畑幸子) 挨拶 笹倉政芳議長・門脇教蔵副議長
欠席議員	なし
参加者数	26 人
意見交換会意見まとめ	Ⅰ 議員のなり手不足 ・報酬が少ないので若い人には難しい。せめて 1.5 倍に。30 代、40 代の世代には厳しい。報酬を上げたらどうか。 ・報酬が安すぎる。いま議員のほとんどは年金受給者である。若者は、子どもを育てなくてはならず、生活できない。生活するのに必死である。 ・政務活動費と言わず、必要経費として計上する仕組みを作れば。 ・今の報酬で生活ができるならよいが。 ・報酬を上げて無理かも。住民が議員を育てるのも大事。・兼業（サラリーマン、小規模事業主）が厳しいから。 ・農業や林業しながら議員になっても生活できない。経済的な問題がある。 ・若い世代は自分に関係があるものしか興味がないから。 ・分かりやすい言葉と内容で議会をやって欲しい。 ・若い女性議員が欲しいなら、育児優先、託児あり、子連れ登院可能、学校の下校時間に合わせた議会の時間帯にする。WEB 会議でも。 ・選挙の際のゴタゴタが嫌。旧態依然とした選挙活動が嫌。 ・4 年に一回の就職活動がキツイ。失業保険も保障もない。今の雇用形態は 4 年間の有・期契約社員なので、そんなものに人生は賭けられない。最低限として、生活の保障が必要。 ・後ろ向きの議論ばかりではだめ。 ・昔は村からの代表的な人を村推薦で出していた。村推薦も悪くない。 ・一人を担ぎ上げるような応援団という形がないため。それは、人の繋がりが多可町外にある。例えば SNS で求めればサポートしてくれる。 ・傍聴に行っている人はわかるが、たかテレビの放送だけではわかりにくい。もっと分かりやすく。

- ・発信不足。もっと議員の事を知らせて欲しい。
- ・議員の存在が見えない。職業として魅力を感じない。
- ・議員の活動が見えない。普段の詳細が分からない。見えない議員の姿。もっと発信せよ。
- ・若い議員さんと呼び、若い女性を対象に講演会を行う。子育て中の議員にも参加してもらう。
- ・町政が何をしているか見えにくいから興味が持てない。
- ・家族の理解が難しい。地域の見方がハードル。
- ・若い女性に関心を持って欲しい。女性が議員に成れる環境と理解が必要。
- ・子育て中でも女性が出られるような環境と理解が必要。
- ・女性会員を増やす組織や仕組みを作る。(小野市は女性の区長が3名)。
- ・サラリーマンでも議員に成れる制度が必要ではないか。
- ・議員のなり方が分からない。議会だよりは見てはいるが。
- ・議員の仕事は毎日なの?何時からなの?etc.
- ・議員は住民の考えをくみ上げて町へ出すのが仕事。メンタルの強さも必要そうだとひとは限られてくるのでは。
- ・NHK クローズアップ現代で政策サポーター制度をやっていた。住民と議員が一緒に動けば住民の意識が変わって(上がって)議員に出るということも考えられる。いきなり出るのは難しい。
- ・子育てふれあいセンターのお母さん方は、いろんな思いを持っている。以前議員との懇談会があったが、こういうことを定期的にやって欲しい、議員や議会に興味を持つことになるし、身近になる。
- ・子どもを預かってもらえる例えばベビーシッター制度などあれば出やすいのでは。
- ・子育てが忙しい世代にとって選挙も負担。子育て世代は介護の問題も出てくる。
- ・魅力ある多可町ではない。活気がない。今の子供たちは、多可町から出ることを前提にして成長している。
- ・小野市は、子育ての魅力を保育園のイベントに市役所の方が来られて話をしてくださった。保護者は、いい街だなあと思っている。そんな風に議員もして下さったら、だいぶ違ってくると思う。その保護者の中から、議員に挑戦しようと思う女性の方が出てくると思う。
- ・とにかく、子どもたち、若者たちが少なくなったことがすべてに影響して、いろいろな問題を生んでいる。
- ・このままだと、無限の力を持っている子供たち、若者が出て行ってしまふ。

2 議員定数・議員報酬

- ・ 3 町の時と比べて、少なすぎる。
- ・ 減らす方向は反対。住民の声を反映させるため。
- ・ 増やした方が良い。様々な年代の人の声が必要である。各世代が言いたいことがある。
- ・ どの世代もいる方がバランスがとれて良い。
- ・ 各区の定数を定めることはできないのか？
- ・ 男女別の定数を定めることは出来ないのか？
- ・ 定数は、14 か 12。最低議会運営ができないのでは困る。
- ・ 増やすべき
- ・ 14 人いる事も初めて知った。初めて見る人ばかり。
- ・ 減らすべし。10 人。各区 3 人に議長 1 人。人口比で。
- ・ 定数 14 名を 10 名に減らしても各住民の意見を吸い上げることはできる。
- ・ あまり減らしたらダメ、住民の声が届かなくなる。
- ・ 住民に分かりやすい活動を。
- ・ 議員は遠い存在なので、多いか少ないか分からない。
- ・ 定数が偶数の理由は理解できた。なら増減は二人ずつと考えられるが、変化が大きいのでは。
- ・ サポートする方があれば、ネットを使ってたくさんの意見を吸い上げる。それができれば、定数 14 人でもいいかなと思う。
- ・ 仕事のできる人だけ、限定した人数で。
- ・ 家族手当・子ども手当等各種手当を加算する。
- ・ 多可町の議員報酬の月 21 万円 5 千円では、若い人が議員になれない。
- ・ 会議、委員会出席時の費用弁償が必要。
- ・ 政務活動費も出ないのであれば、若い世代は議員にならない。
- ・ 議員報酬は議員や元議員が考えることである。
- ・ 多いのでは。今の議員では。
- ・ 個人差がある。活動による。
- ・ 議員同士で評価するのも良い。
- ・ あまり多いと風当たりが強いのでは。
- ・ なぜ、市議と町議でこんなに報酬に差があるのかびっくりする。
- ・ 多可町は男性が大黒柱という考えが根強い。男性がこの報酬では無理。
- ・ 自分の仕事、報酬を思うとこれでは不足かなと思う。
- ・ 小さい子どもがいる家庭ではとても不安定。出られない。
- ・ 議員報酬は、せめて 40 代の役場職員の給与ぐらいが必要と思う。今の報酬では、生活できないでしょう。
- ・ 政務活動費は、必要だ。交通費も同様。
- ・ 10 人にして、子育て女性には厳しいので、労働基準法に添って、フル

タイム議員になって手取り 30 万円にする。

- ・ 1 つの委員会にし、8 人で一人 40 万円でもいいのではないか。
- ・ 定数を減らし、給料を上げる。定数 10 人、報酬 30 万円以上。
- ・ 2 年に 1 度は報酬審議会を開くべきではないか。
- ・ 近隣市町との人口動態や町政比較する
- ・ 仕事の内容が分からないので、定数・報酬ともこれで適正か分からない。
- ・ 議員の仕事が見えないから、わからない。

3 住民に関心を持ってもらう議会

・ 住民に関心をもってもらう議員になること。その為には、一生懸命している姿をみせよ。

- ・ 議員の名前がわからない

・ 遠くから来て、多可町に住んでいる人の話を聞く（好きで来た人は除く）。

- ・ 住民に関心を持っている事を議会で議論すべき。

- ・ 委員会を公開して、侃侃諤諤している様子を見たい。

・ 今日のこの会も声をかけてもらうまで知らなかった。LINE を活用してお知らせしたら？

・ この会も、LINE ポイントを付与するなど、最初だけ価値を付けて議会に興味を持ってもらうような仕組みを作る。

- ・ 来て欲しい女性層が一番出にくい時間帯の会である。

・ 高校生議会だけでなく、多可町の事を調べる 4 年生ぐらいから議会についての勉強を取り入れてみたら？中学生も。

- ・ 議会の活動内容が、住民から調べないと分からない。

- ・ このままだと 10 年 20 年後にはもう議員のなり手はいないのでは。

- ・ 議員の存在感がない。

- ・ 夜間議会、日曜議会。

・ いろいろ新しい事をして周囲から注目される議会。タブレット、高校生議会等。

- ・ 発信力をつけろ。

- ・ 情報発信は今流のスマホを活用すべきである。

- ・ 議員の情報発信力がない。

- ・ 日常情報発信せよ。

・ 住民にとって議会は他人事。何故か、議会はこのようにしていますよといった情報発信が不足している。SNS など、こんなこと、あんなことを知らせよ。

・ 過去に相談した時の対応が悪く、その印象が残っている。困りごとを相談して良かったと言える議員なら、その議会に関心をもてる。

- ・ 多可町の政策や報酬についても魅力を感じない。

	・議員さんに頼んで、何かが実現したと言う経験がないために関心が薄い。 ・議会の影が薄い。もっと政策や提案することにより議会をアピールする。 ・住民と議員との交流が少ない。フェイスブック等に投稿し、議会報告してはどうか。お年寄りの方も、スマホをお持ちの方が増えてきている。 ・座談会を重ねていくと良い。ネーミングは考えて欲しい。子育て世代だけでなく、いろんな年代が参加できるように。 ・勉強会は例えば「なり方の会」など開いて欲しい。 ・NHK「しゃべり場」→何でも言おうよ。そんな会を開いては。 ・議員との話し合いがもっとできれば良いと思う。お母さんたちも外向きに意見が出せると思う。(もちろんお母さん限定ではなくいろんな世代) ・地元にいると状況が分かりにくい。一度町外に住んで戻ってくると、良くも悪くもいろんなことが見える。 ・家庭の理解を得るためにも、家族みんなで来られるのが良い。 ・勉強会や意見交換の会があれば、理解が進む。
要望等	・子育てふれあいセンターは子どもがいなくても行けるところ。介護で困っている人なども参加できると良い。
その他 特記事項	

令和 5 年 5 月 24 日

多可町議会議長 笹 倉 政 芳 様

報告者 廣 畑 幸 子